

狭い隙間に毛先が届き、歯肉にやさしいスーパーテーパード毛の歯周病ケア歯ブラシ

# DENT.EX systema レポート

デント EX システム

## ブラッシング指導での お役立ち・活用実例集

contents

歯肉炎・歯周炎のケアに

ブラッシングが定着しづらい方に

審美修復治療にともなう歯肉のケアに

インプラント治療のケアに

矯正治療時の歯肉ケアに



スーパーテーパード毛  
(先端部拡大写真)

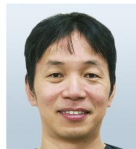
ご協力いただいたみなさん 執筆者の所属は、原則、レポート執筆時のものです。



小野寺歯科  
歯科衛生士  
風野 弥栄さん



おもと歯科クリニック  
歯科医師  
尾本 麻衣子先生



岡崎歯科  
歯科医師  
岡崎 伸一先生



岡崎歯科  
歯科衛生士  
小田 君江さん



岡崎歯科  
歯科衛生士  
松井 明日香さん



岡崎歯科  
歯科衛生士  
金 亜矢子さん



かじやま歯科クリニック  
歯科医師  
梶山 崇先生



かじやま歯科クリニック  
歯科衛生士  
大塚 淳子さん



制作  
神奈川歯科大学 短期大学部 客員教授

IWAKIRI SYSTEM 代表 岩切 明美



<http://www.za.em-net.ne.jp/~iwakiri/>

# 歯科衛生士が自身の歯周病ケアに初めてsystemaを使用し効果を実感

CASE 1

●25歳(女性) 歯科衛生士 ●主訴: 自覚症状なし ●リスク: 歯肉炎、軽度～中等度歯周病、カリエスリスク、歯質の軟化、脱灰、知覚過敏 7(D面)、歯列不正、ブラキシズム(食いしばり)、顎関節症 ●歯周治療歴: 学校で少しあり ●健康状態: 良好 ●喫煙歴: なし

口腔内所見「初診」

幼い頃から歯列不正があり虫歯になり易いため、歯科衛生士になってからは、特に念入りに歯磨きをしてステインは気になった時に除去していた。自分ではプラークコントロールできていると思っていたが、口腔内所見は、歯肉縁上に少し歯石沈着、口腔内全体にステイン沈着が多く、歯肉は発赤、腫脹があり、全体にポケット深さ3～4mm、最後臼歯遠心側 7に6mmポケット、プロービング時には全体に出血が認められた。口腔状態の説明を受け、まさか自分が歯周病になっているとは思ってもよらず正直ショックと驚きを隠せなかった。



これまでラウンド毛の平切りタイプの手用歯ブラシを好んで使用し、しっかり磨いていたにもかかわらず、歯肉の炎症が強くなり、治療は歯肉全体から出血が著しく、5時間を要した。DENT.EX systema 44Mを勧められ使用を始めたが、始めは歯肉の痛みと出血を感じた。歯並びが悪いので、隣接面は横と縦からブラシの毛先を歯肉に当てて磨き、臼歯部はフロスと歯間ブラシ(sss)を併用したところ、1週間もしないくらいで嘔吐のように痛み、出血が無くなり、発赤、腫脹も改善できた。何より以前と比較してブラッシング後の口腔内がさっぱりして歯肉が引き締まり、口の中も軽く感じた。1ヶ月後のメンテナンスでは、全体のポケット深さ3mm以下を維持している。

歯周治療＆メンテナンス



感想

長い間、自分には平切りタイプの歯ブラシが適していると思っていました。しかし、今回実際に自分で歯周治療を体験したことにより、炎症のコントロールの重要性をはっきり理解することができました。そしてsystema44Mに出会って歯周治療がすごく楽しくなりました。これからの目標は、さらに手技を磨きsystema44Mの良さを皆に伝えて患者さんの歯周病を治したいと思っています。

愛知県名古屋市 小野寺歯科 歯科衛生士 風野 弥栄 さん



POINT 歯科衛生士自身の使用で歯肉の炎症コントロール効果を実感。

# 多くのリスクを伴う高齢者の歯周治療からメンテナンスにsystemaを使用

CASE 2

●64歳(女性)主婦 ●主訴:歯肉から出血するのでクリーニングを受けたい ●リスク:軽度、中等度歯周病、カリエスリスク、歯質の軟化、脱灰、知覚過敏、歯列不正、不良補綴物、不正咬合、ブラキシズム、顎関節症(ナイトガード装着)、咬合の問題があり、エナメル質剥離 ●健康状態:5年前より高血圧、アレルギー性鼻炎、関節炎、骨粗しょう症の薬を服用

口腔内所見と治療経過【初診】

約1年間メンテナンスを受けていない状態で当医院を受診。歯肉は全体的に赤く腫脹し、歯面に若干の歯石とステイン沈着あり。ポケット深さは前歯部3mm以下、臼歯部3~4mm、一部[7]舌側根分岐部5mm。[4]、[4]隣接面(近心側)からブラッシング時の出血あり。高齢を考慮し、1ヶ月ごとに二回の再歯周治療を実施。以前の医院でsystema歯ブラシを薦められ約20年以上使用しており、毎食後のブラッシングと歯間ブラシは習慣化している。



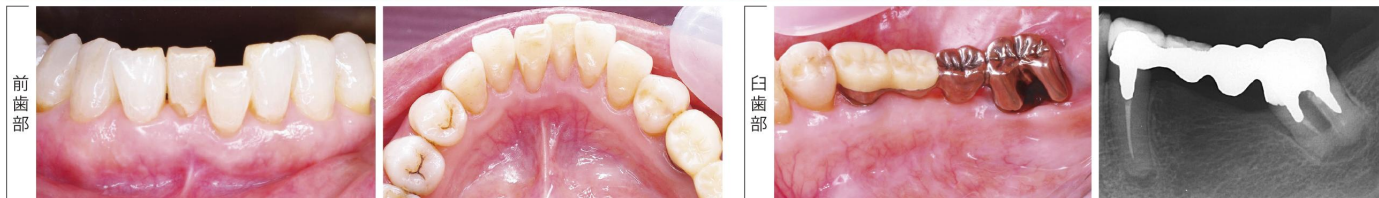
全体に薄くてデリケートな歯肉のため、超音波と手用のスケーラーを併用し、歯石とステインを除去後、デブリドメント、ポリッシングを行った。下顎前歯叢生部と[7]ブリッジ舌側(クラスⅢの根分岐部ポケット5mm、出血なし)は、systema歯ブラシの毛先を使って、横と縦から優しく丁寧に少し根尖方向に押すように歯面に当てながらの清掃を指導した。「[7]の舌側は気になるので、systemaと歯間ブラシ(L)を使って毎食後時間をかけて磨いている」と患者さん自身のモチベーションも非常に高く、ケアが難しい部位で炎症を起こしやすいことを理解している。

歯周治療



歯肉の発赤、腫脹がなくなり、全体的にポケット深さ3mm以下、[7]舌側ポケット深さ3mmに引き締まっていることを、ペリオチャートや口腔内写真などで説明し確認。systema使用時の歯肉の痛み、出血がなくなり歯肉が改善できたと喜んでいただいた。引き続き3ヶ月に一回の定期的メンテナンスを実施し、今後は、臼歯部の修復治療も少しずつ行う予定にしている。

再評価、メンテナンス



咬合の問題があり、エナメル質剥離

前歯舌側叢生部位

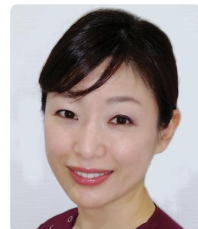
[7]舌側根分岐部、約30年維持

[7] X線写真

感想

患者さんは「私の歯はこの歯ブラシでもっているようなものよ」と言っています。systemaを愛用して20年以上になることを聞いて驚きました。さまざまな歯ブラシが出ている中で、やはりsystemaは万能だと考えます。当医院は、今年新設したばかりですが予防歯科を目指して頑張っています。子供から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんにこれからもsystemaをお薦めしていきたいです。

大阪府箕面市 おもと歯科クリニック 歯科医師 尾本 麻衣子 先生



POINT ハイリスク部位は、毛先の当て方を工夫して重点ケア。

# ブラッシングが定着しづらい患者のメンテナンスにsystemaを使用

CASE 3

●40歳(男性) 自営業 ●主訴:前歯をきれいに治したい、歯肉の出血が気になる ●リスク:歯肉炎~中等度歯周病、歯列不正、  
不適合補綴物、ブラキシズム ●歯周治療歴:なし ●健康状態:良好 ●喫煙歴:なし

口腔内所見と治療経過「初診」

9年前に上顎前歯部に不適合補綴物が装着されており、審美修復を目的に来院。歯磨き時の前歯歯肉の痛みと出血が主訴で、口腔内全体に清掃不良で非常に悪い状態。歯ブラシは平切りタイプを使用し習慣化はしていない。歯石とステイン沈着が少々あり、歯肉は厚みがあるが発赤、腫脹している。ポケット深さは、前歯部3~4mm、臼歯部3~6mmで、特に上顎前歯部歯頸部と隣接面には強い発赤、出血、痛みを確認。カウンセリング後、歯周治療を行い、初期治療では再評価まで5時間を要した。さらに、審美修復治療を行いナイトガードを使用。患者さんには、歯周治療からsystema歯ブラシを使用していただいた。



初診



21|1の支台歯形成



21|1の根管治療

仕事の関係でなかなかブラッシングが定着しづらいが、歯磨きを朝夕食後2回行いながら、ウルトラフロス、歯間ブラシも併用。朝食後は、systema歯ブラシと白歯部に歯間ブラシ(S)を使用し、夕食後は、systema歯ブラシと白歯部に歯間ブラシ(S)、前歯部にウルトラフロスを使用していただいている。メンテナンス時に毎回練習した結果、スムーズにケアできるようになった。

メンテナンス術前・術後



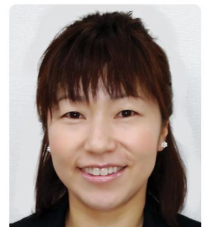
メンテナンス9年が経過してブラッシングもすっかり定着。歯肉は発赤、腫脹がなく、ポケット深さも3mmを維持できて安定。フロスが面倒で、たまに前歯部から出血するため「出血した時は、systemaの毛先を隣接面に入れて横と縦から押し当てながら少し時間をかけて歯磨きすると出血が止まります」と指導している。患者さんはsystemaの使い方に慣れ、ポケットの中が磨ける歯ブラシとして理解できており、3ヶ月ごとのメンテナンスは必ず来院いただいている。



感想

●岡崎伸一 先生 歯肉が厚く歯ブラシの定着が困難な方にもsystemaは有効です。歯頸部にブラシを当てて軽く動かすだけで毛先がポケット内へ入り清掃でき、歯肉の炎症コントロールに一番適していると思います。  
●小田君江 さん 患者さんは「歯ぐきに入る感覚が実感できて気持ちよさくてやめられない。大好きです。」とsystemaを喜んで使用していただいています。多分、以前の歯ブラシだと定着は困難だったと感じています。

愛知県清須市 岡崎歯科 歯科医師 岡崎 伸一 先生(左) 歯科衛生士 小田 君江 さん(右)



POINT 毛先のポケット侵入実感と気持ちよさで、ブラッシング習慣を定着。

# 歯周治療から矯正治療終了後のメンテナンスにsystemaを使用

CASE 4

●31歳(女性)会社員 ●主訴: 6|のインレーの脱離、前歯の歯並びが気になる ●リスク: 中等度歯周病、カリエスリスク、  
 切端咬合、ブラキシズム ●歯周治療歴: あり ●健康状態: 良好 ●喫煙歴: なし

口腔内所見と治療経過

患者さんは、7年前に他医院での歯周治療後の修復治療トラブルで、歯科医院に対しての不信感が非常に強い。歯周初期治療と上下左右白歯部ポケット深さ7mmの垂直性骨欠損はFOPを行った。その後、矯正治療を実施。矯正中は炎症の改善が難しかったため、systema歯ブラシの使用をお勧めしたが、ご自身が歯ブラシに大変こだわりがあり、以前からの平切りタイプを継続。矯正治療終了後、ようやくsystemaに変更していただいた結果、ポケット内の炎症の改善が楽にできるようになり、ポケット深さ3mm以下で出血、痛みがなく安定した歯肉状態を維持できている。  
 現在、3ヶ月おきのメンテナンスを行っている。患者さんは、systemaの清掃性、ポケット内が磨ける気持ち良さがあり、systemaが大好きになって、今ではケース単位で買っている。



感想

私は歯科衛生士歴11年になりますが、歯ブラシ習慣を変える大変さ、難しさを初めて経験しました。術者として、改めて歯ブラシ選択の大切さ、炎症コントロールに対して理解が深まり、実感できた気がしています。本当に諦めないで良かったと感じています。

愛知県清須市 岡崎歯科 歯科衛生士 松井明日香 さん



**POINT** 清掃性、気持ちよさの実感でラポール形成し継続使用。

# 舌側矯正中の困難なメンテナンスにsystemaで対応

CASE 5

●34歳(女性)看護師 ●主訴: 歯周治療 ●リスク: 歯肉炎、軽度歯周病、カリエスリスク、歯列不正、ブラキシズム  
 ●歯周治療歴: あり ●健康状態: 良好 ●喫煙歴: あり(一日10本) ※禁煙を指導しているが、未だ喫煙継続

口腔内所見と治療経過

矯正歯科医の紹介で、歯周治療と矯正治療終了後の全顎の歯冠修復治療を希望されて来院した。全体に口腔内の清掃状態が悪く歯肉は発赤、腫脹、出血があるが、前歯部ポケット深さ3mm以下、白歯部3mm~4mmで、歯肉炎から軽度歯周病であった。使用歯ブラシは平切りタイプを使用。口腔内の状態と歯ブラシ習慣が定着していないことなどを説明し、systemaを使用していただいた。  
 歯周治療は、歯肉からの著しい出血があり再評価まで4時間を要したが、治療後は、全体にポケット深さ3mm以下、出血なしの状態に改善。食後3回の歯磨きが定着でき、患者さん自身「矯正装置の細かい部分や歯がしっかり磨けて気持ちいい。歯ブラシを変えただけで全然違いますね」と驚いている。



感想

舌側矯正中にsystemaを使用したことで、さらにブラッシングがスムーズにできたと実感しています。やはり矯正治療中は絶対systemaが必要と感じています。安心してメンテナンスに来院いただき、本当に良かったと医院の皆で喜んでます。

愛知県清須市 岡崎歯科 歯科衛生士 金 亜矢子 さん



**POINT** 矯正治療中のプラークコントロールに活用してリスクの高い歯肉状態をコントロール。

# 歯周治療とインプラント埋入後のケアにsystemaを使用

CASE 6

●63歳(男性)会社員 ●主訴: **1**と**76**をインプラントにしたい  
 ●リスク: 軽度~中等度歯周病、ブラキシズム(クレンチング) ●健康状態: 良好 ●喫煙歴: なし

口腔内所見と治療経過「初診」

初診は、左上**1**が支台歯全体から脱離して来院。口腔内の状態は、前歯部縁上、臼歯部縁下歯石の沈着、歯肉は発赤、腫脹があり、全体のポケット深さ3mm~5mm(BOP+)で、特に大臼歯隣接面と最遠心側は5mmであった。初診時は平切りタイプの電動歯ブラシを使用していたが、歯周ポケット内の清掃が不十分のため、歯周治療から電動と手用のsystema歯ブラシを併用し、特に夕食後にsystemaを使用し丁寧に磨くようブラッシング指導した。臼歯部のみ歯間ブラシ(SS)を併用している。患者とのコンサルの結果、全顎の治療を行う事になった。



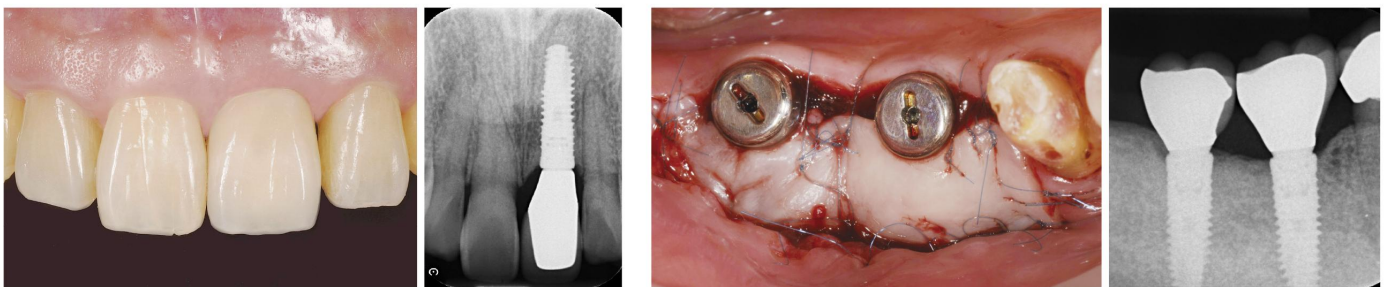
審美修復治療後

全ての修復治療が終了。患者さんの歯肉は丈夫で厚みがあり歯槽骨もしっかりあるため、少し時間がかかるが、さらに歯肉の再生が順調に進みしっかりした歯肉を形成できると思われる。今後は、修復物の審美性を崩さないよう、systemaを使用して軽い力で歯磨きするよう指導し、前歯部にはデンタルフロスも定着させながら、3ヶ月おきのメンテナンスを行い良好な状態を維持していく。ブラキシズムがあるためナイトガードを使用する。



インプラント埋入状態

歯周初期治療を行った後に、前歯**1**、臼歯部**76**はマイクロを使用したインプラント治療を実施。埋入直後のセルフケアでは毎食後洗口液を使用し、食物残渣のみsystemaで極軽く除去を行い、術後1ヶ月から少しずつ通常のブラッシングに変えた。食後のブラッシングを徹底するよう指導し、良好な状態でインプラント治療が終了。



**1** 修復物装着後

**1** IP埋入

**76** IP埋入後

**76** IP埋入

感想

高齢の患者さんにとって健康的な身体と美味しく食事ができることが何よりも大切です。「審美性が良くなり何でも食べられる」と患者さんは大感激していただき本当に良かったです。当院ではインプラント治療が非常に多く、皆さんにsystemaを使用いただいています。インプラント埋入後のセルフケアで一番感じることは、systemaは縁上、縁下の困難な部位も磨け、患者自身にも炎症が分かり易く、当院にはなくてはならない必要不可欠な歯ブラシです。

千葉県船橋市 かじやま歯科クリニック 歯科医師 梶山 崇 先生

POINT ブラッシング力のコントロールでインプラント埋入直後のケアから活用。



# 審美修復やインプラントのケアにsystemaを使用

CASE 7

- 67歳(女性)主婦 ●主訴:前歯をきれいに治したい ●リスク:歯肉炎、軽度歯周病、ブラキシズム
- 習慣:なし ●健康状態:良好

口腔内所見と治療経過「初診」

患者さんは、約2年ぶりの歯科医院受診で、歯肉縁上隣接面の歯石沈着や口腔内全体のステイン沈着が著しいことを主訴に来院。平切りタイプの歯ブラシを使用。全体にポケット深さは2mm～4mmで、一見歯肉の炎症は発赤、腫脹が少しだけであったが、歯周治療では歯周ポケット内から炎症性のドロドロした出血が著しかった。白歯部には多くの歯冠修復物があり、左下の欠損部位にインプラント埋入予定があるため、ポケット内が清掃できるsystema44Mを指導して使用していただき、ポケット深さ2mm～3mmで出血がない状態に改善した。



歯周初期治療後、前歯1のテトラサイクリン薬剤による変色にコンポジットレジンで充填、5～7インプラント埋入、3～1Br、7～5に歯冠修復治療を行い、その後はナイトガードを使用していただいている。しっかりした丈夫な歯肉だが、審美修復治療後も良好な状態を維持するために、引き続きsystema歯ブラシで磨くよう指導した。ポンティック部位には細めのスーパーフロス、ウルトラフロスも併用していただいている。



[1] CR充填の術中

審美修復治療後



3ヶ月おきのメンテナンスでは、ポケット深さ2mm～3mmを維持できている。白歯部から少し出血することもあり、再度ブラッシング指導を行い歯ブラシの角度や動きを確認。systemaを使用しているので「出血したら歯ブラシの毛先が当たるようにして少し時間をかけて磨くようにしています」と患者さん自身にも出血部位が理解できているようだ。健康な歯や修復物、そして健康な歯肉を維持できるよう管理している。

メンテナンス(2年後)



感想

患者さんは、systema歯ブラシにすっかり慣れて「一番使いやすい歯磨きが気持ち良い」と言っています。systema歯ブラシは、使い始めると皆さんが大好きになり、当院で一番多く購入いただいている歯ブラシです。私たち歯科衛生士にとっても歯肉の出血や痛み、炎症がある部位がすぐに分かるので大変重宝し、歯周治療やメンテナンス時の術者磨き用としても活用しています。

千葉県船橋市 かじやま歯科クリニック 歯科衛生士 大塚 淳子 さん

POINT 出血のコントロールに、目的部位に毛先を当てることを意識付け。



# 幅広い症例に対するsystema歯ブラシの活用について

## systema歯ブラシとの出会い

1993年、systema歯ブラシが発売された当時、初めて自身で使用して「毛先が細く歯肉ポケット内の清掃ができる、これは歯周治療に使える歯ブラシだ」と直感しました。それから22年間に渡り一番好きな歯ブラシとなり、私の歯周治療には必要不可欠な歯ブラシとなりました。

## 幅広い適応症例

systema歯ブラシは、子供から成人、高齢者、薄い歯肉から厚い歯肉の方まで、幅広い患者さんに使用することができます。また、歯肉炎、歯周病予防、カリエス予防、歯列不正、歯冠修復治療、矯正中、インプラントのメンテナンスや付着歯肉が無い場合などに効果的です。特に近年は、インプラント治療を受けた患者さんの細菌の感染症が非常に多く問題になっており、さまざまな困難なケースにも対応できます。

## 特に歯肉縁下のプラークコントロールに威力を発揮

歯肉縁上のケアだけではなく、歯肉縁下のポケット内のプラークコントロールを行うために、systema歯ブラシを使用していただくことが最も有効と考えます。例えば、歯科衛生士の「プロケア」では、歯周治療中やメンテナンス時の術者磨き、炎症の確認にsystema歯ブラシを使用します。また、患者さんの「セルフケア」では、通常のブラッシングの際にsystema歯ブラシを使用していただくと、歯肉からの出血や痛み、ポケット内の細菌臭などで炎症の度合いが患者さん自身にもすぐにわかります。勿論、歯ブラシだけで歯周病を治すことはできませんので、必ず歯周治療を行ってからsystema歯ブラシを使用します。その上で「セルフケア」での正しいブラッシング方法を患者さんが身につけて定着できるよう歯科衛生士の指導が最も大切です。その他にフロス、歯間ブラシ、フッ化物の併用も行います。

## 患者さん受入性の高さや歯周病ケアへの活用

systema歯ブラシを使用した患者さんは、「すみずみまで磨ける感じで気持ち良い。口の中がスッキリして軽くなった。口の臭いもなくなった。」など大変喜んでいきます。歯周治療のコンプライアンスが成され、患者さんの健康な歯と歯肉を守るために、すべての歯科医院でsystema歯ブラシを活用した歯周病予防システムを構築することが重要です。

神奈川歯科大学 短期大学部 客員教授  
IWAKIRI SYSTEM 代表  
岩切 明美

## DENT.EX systema 42M・42H・44M・44H

### スーパーテーパード毛で、歯肉にやさしく歯周病ケア。

先端部0.02mmのスーパーテーパード毛が歯周病の好発部位である歯頸部・歯間部へもくまなく届き、歯肉が薄く歯肉退縮のリスクがあるデリケートな歯肉に、ストレスを与えることなくしっかりブラッシングできます。

